

チェックリスト

名前 _____

経験すべき症候－29症候－

外来又は病棟において、下記の症候を呈する患者について、病歴、身体所見、簡単な検査所見に基づく臨床推論と病態を考慮した初期対応を行う。	経 験	
	有	無
1) ショック		
2) 体重減少・るい瘦		
3) 発疹		
4) 黄疸		
5) 発熱		
6) もの忘れ		
7) 頭痛		
8) めまい		
9) 意識障害・失神		
10) けいれん発作		
11) 視力障害		
12) 胸痛		
13) 心停止		
14) 呼吸困難		
15) 吐血・喀血		
16) 下血・血便		
17) 嘔気・嘔吐		
18) 腹痛		
19) 便通異常(下痢・便秘)		
20) 熱傷・外傷		
21) 腰・背部痛		
22) 関節痛		
23) 運動麻痺・筋力低下		
24) 排尿障害(尿失禁・排尿困難)		
25) 興奮・せん妄		
26) 抑うつ		
27) 成長・発達の障害		
28) 妊娠・出産		
29) 終末期の症候		

経験すべき疾病・病態－26疾病・病態－

外来又は病棟において、下記の疾病・病態を有する患者の診療にあたる。	経 験	
	有	無
1)脳血管障害		
2)認知症		
3)急性冠症候群		
4)心不全		
5)大動脈瘤		
6)高血圧		
7)肺癌		
8)肺炎		
9)急性上気道炎		
10)気管支喘息		
11)慢性閉塞性肺疾患 (COPD)		
12)急性胃腸炎		
13)胃癌		
14)消化性潰瘍		
15)肝炎・肝硬変		
16)胆石症		
17)大腸癌		
18)腎盂腎炎		
19)尿路結石		
20)腎不全		
21)高エネルギー外傷・骨折		
22)糖尿病		
23)脂質異常症		
24)うつ病		
25)統合失調症		
26)依存症(ニコチン・アルコール・薬物・病的賭博)		

※経験すべき症候及び経験すべき疾病・病態の研修を行ったことの確認は、日常診療において作成する病歴要約に基づくこととし、病歴、身体所見、検査所見、アセスメント、プラン(診断、治療、教育)、考察等を含むこと。

「経験すべき疾病・病態」の中の少なくとも1症例は、外科手術に至った症例を選択し、病歴要約には必ず手術要約を含めること。

その他、医療面接、身体診察、臨床推論

■医療面接	経 験	
	有	無
1)緊急処置が必要な状態かどうかの判断		
2)診断のための情報収集		
3)人間関係の樹立		
4)患者への情報伝達や健康行動の説明		
5)コミュニケーションのあり方		
5)患者へ傾聴		
6)家族を含む心理社会的側面		
7)インフォームドコンセントを受ける手順		
8)プライバシー配慮		
9)病歴聴取と診療録記載		
■身体診察(病歴情報に基づく)	経 験	
	有	無
1)診察手技(視診、触診、打診、聴診等)を用いた全身と局所の診察		
2)倫理面の配慮		
3)産婦人科的診察を含む場合の配慮		
■臨床推論(病歴情報と身体所見に基づく)	経 験	
	有	無
1)検査や治療を決定		
2)Killer Disease を見逃さない		

臨床手技

■臨床手技	経 験	
	有	無
1)気道確保		
2)人工呼吸(バッグ・バルブ・マスクによる徒手換気含)		
3)胸骨圧迫		
4)圧迫止血法		
5)包帯法		
6)注射法(皮内、皮下、筋肉、点滴、静脈確保)		
7)腰椎穿刺		
8)穿刺法(胸腔、腹腔)		
9)導尿法		
10)ドレーン・チューブ類の管理		
11)胃管の挿入と管理		
12)局所麻酔法		

13)創部消毒とガーゼ交換		
14)簡単な切開・非膿		
15)皮膚縫合		
16)軽度の外傷・熱傷の処置		
17)気管挿管		
18)除細動等		

検査手技等の研修歴

■検査手技の経験	経 験	
	有	無
1) 血液型判定・交差適合試験		
2) 動脈血ガス分析(動脈採血を含む)		
3) 心電図の記録		
4) 超音波検査		
■地域包括ケア・社会的視点	経 験	
	有	無
1) 退院前カンファレンスを経験する		
2) 地域連携室・部門との活動を経験する		
3) ソーシャルワーカーとの活動を経験する		
4) 主治医意見書の作成		
■診療録	経 験	
	有	無
1) 日々の診療録をSOAPで記載する(退院時要約を含む)		
2) カウンターサインを介して指導医とのやり取りをする		
3) 入院患者の退院時要約を作成する(1週間以内)		
4) 各種診断書(死亡診断書を含む)		
5) 指導医コメントを毎日読む		

感染対策、予防医療等の研修歴

■全研修期間 必須項目	経 験	
	有	無
1)医療安全		
2)感染対策(院内感染や性感染症等)		
3)予防医療(予防接種を含む)		
4)虐待		
5)社会復帰支援		
6)緩和ケア		
7)アドバンス・ケア・プランニング(ACP)		
8)臨床病理検討会(CPC)		

■全研修期間 研修が推奨される項目	経 験	
	有	無
1)児童・思春期精神科領域		
2)薬剤耐性菌		
3)ゲノム医療		
■診療領域・職種横断的なチームの活動	経 験	
	有	無
1)RST (Respiration Support Team;呼吸ケアチーム)		
2)NST (Nutrition Support Team;栄養サポートチーム)		
3)摂食・嚥下チーム		
4)緩和ケアチーム		
5)ICT (Infection Control Team;感染管理チーム)		
6)医療安全ラウンド		
7)創傷・褥創管理チーム		
8)リエゾン(精神支援チーム)		
9)退院支援-地域連携チーム		
10)在宅医療チーム		
11)臨床倫理チーム		
12)糖尿病チーム		
13)救急チーム(RRT:Rapid Response Team)		
14)その他		

シミュレーション教育経験歴

■実習項目	経 験	
	有	無
1)心肺蘇生シミュレーター		
2)挿管練習モデル		
3)AEDトレーナー		
4)縫合		
5)採血		
6)静注		
7)中心静脈カテーテル挿入		
8)心音・呼吸音		
9)乳房触診		
10)婦人科診察		
11)直腸診		
12)眼底		
13)耳		

総合考察提出チェックリスト

名 前 _____

「経験すべき症候－29症候－」

外来又は病棟において、下記の症候を呈する患者について、病歴、身体所見、簡単な検査所見に基づく臨床推論と病態を考慮した初期対応を行う。	済	未	備 考
1. ショック			
2. 体重減少・るい瘦			
3. 発疹			
4. 黄疸			
5. 発熱			
6. もの忘れ			
7. 頭痛			
8. めまい			
9. 意識障害・失神			
10. けいれん発作			
11. 視力障害			
12. 胸痛			
13. 心停止			
14. 呼吸困難			
15. 吐血・喀血			
16. 下血・血便			
17. 嘔気・嘔吐			
18. 腹痛			
19. 便通異常（下痢・便秘）			
20. 熱傷・外傷			
21. 腰・背部痛			
22. 関節痛			
23. 運動麻痺・筋力低下			
24. 排尿障害（尿失禁・排尿困難）			
25. 興奮・せん妄			
26. 抑うつ			
27. 成長・発達の障害			
28. 妊娠・出産			
29. 終末期の症候			

「経験すべき疾病・病態－26疾病・病態－」

外来又は病棟において、下記の疾病・病態を有する患者の診療にあたる。	済	未	備 考
1. 脳血管障害			
2. 認知症			
3. 急性冠症候群			
4. 心不全			
5. 大動脈瘤			
6. 高血圧			
7. 肺癌			
8. 肺炎			
9. 急性上気道炎			
10. 気管支喘息			
11. 慢性閉塞性肺疾患（COPD）			
12. 急性胃腸炎			
13. 胃癌			
14. 消化性潰瘍			
15. 肝炎・肝硬変			
16. 胆石症			
17. 大腸癌			
18. 腎盂腎炎			
19. 尿路結石			
20. 腎不全			
21. 高エネルギー外傷・骨折			
22. 糖尿病			
23. 脂質異常症			
24. うつ病			
25. 統合失調症			
26. 依存症（ニコチン・アルコール・薬物・病的賭博）			

* 「経験すべき疾病・病態」の中の少なくとも1症例は、外科手術に至った症例を選択し、病歴要約には必ず手術要約を含めること。